

シェイクスピアの音楽

Presented by AllegroMusicTokyoInc.

ミュージシャンズ
オヴ・ザ・グローブ
「グローブ座の
音楽家たち」



William Shakespeare
(1564-1616)



Photo: F.P.P.

- フィリップ・ピケット [音楽監督、リコーダー]
Philip Pickett - Director, Recorder
- エイドリアン・チャンドラー [ヴァイオリン]
Adrian Chandler - Violin
- エリザベス・パレット [シタール]
Elizabeth Pallett - Cittern
- トム・フィンケン [リュート]
Tom Finucane - Lute
- リンダ・セイス [バンドーラ]
Lynda Sayce - Bandora
- キャサリン・フィニス [ヴィオラ・ダ・ガバ]
Catherine Finnis - Viola



フィリップ・ピケット



Photo: Ricardo Alcaide



ジョン・バランジャー
[道化、マイム、ジャグラー、マジシャン、アクロバット...]
John Ballanger - Fool, Mime, Juggler, Magician, Acrobat...



ジョアン・ラン [ソプラノ]
Joanne Lunn - Soprano

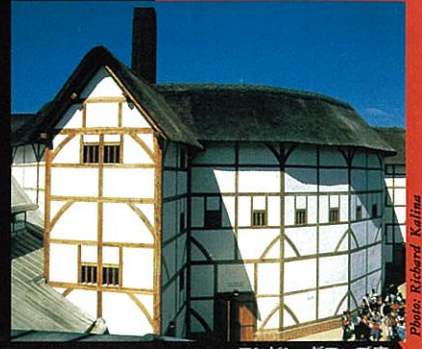


Photo: Richard Kalina

ロンドン、グローブ座

7/10 [水] 6:45pm
しらかわホール

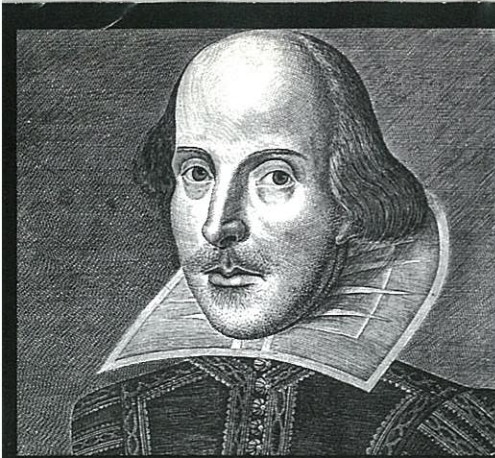
Wednesday, 10 July 2002, 6:45p.m., Shirakawa Hall
地下鉄東山線・御舞線伏見駅下車、
⑤番出口を出て南へ徒歩3分、ポーラビル東隣

全席指定: シングル券 ¥5,000 /ペア券 ¥9,000 /当日学生券 ¥2,500 [消費税込]

チケットのお申し込み・お問い合わせ: ☎(052)222-7117 しらかわホールチケットセンター

チケットぴあ、(052)320-9999/愛知芸術文化センタープレイガイド/CBCプレイガイド/名古屋三越栄本店
名鉄観光サービスセンター支店(名古屋駅前サンロード地下街)/河合楽器名古屋ショップ/松坂屋本店(北館)/ヤマハミュージック名古屋

主催: しらかわホール 協賛: 三井住友海上 三井住友海上きらめ産生命 しらかわホールホームページ: <http://www.shirakawa-hall.com>



この世はすべて舞台、 男も女も役者にすぎぬ——

“音楽を身にまとった
英国の伝統”とともに、
観劇の興奮に酔いしれよう。

グローブ座の音楽家たちがやって来る!

本場グローブ座から贈るシェイクスピアの劇中歌、舞曲、バラッドの数々。シェイクスピア劇お馴染みの登場人物の喜び、悲しみ、恋、狂気がジョアン・ランの絶妙の歌唱によって蘇ります。一方ルネサンス時代の楽器を演奏する器楽陣が、17世紀にグローブ座の観客を魅了した天上の音を再現します。今回日本公演のために特別に同行する道化のジョンは、独特のルネサンス・ブランドのウィット、マジック、曲芸の離れ業、ビジュアル・コメディ、そしてもちろん仮面と衣裳で観客を楽しませるだけでなく、シェイクスピア劇には欠かせない道化(タッチストーン、フェスティ、リア王の道化)の、複雑な側面をもつキャラクターを再現してくれることでしょう。

シェイクスピアの音楽

- ストローベリーの葉
- 彼氏と彼女が(お気に召すまま)
- セリンガーズ・ラウンド
- ウォールシンガム
- どうしたら真の恋人を(Hamlet)
- 5尋の深い海底に(Tempest)
- 蜂が蜜を吸うところで(Tempest)
- 彼女は僕の過ちを許してくれるだろうか
- さようなら、恋人よ(十二夜)
- わが主君マーチのバヴァン
- ガリアード
- その唇を持ち去ってほしい(尺には尺を)
- 聴け、聴け、ヒバリの歌を(Sinperlin)

ミュージシャンズ・オヴ・ザ・グローブ

シェイクスピアの数々の戯曲が初演されたのと同じロンドンのサウスバンクに、1997年、エリザベス女王を迎えてシェイクスピア劇専門劇場(ニュー・グローブ座)がオープンした。木材を組んだ内装から草葺きの屋根まで、もとの設計に可能な限り忠実に従った建物である(違うのは、防火建築という点だけ)。そしてフィリップ・ピケットのもとに優秀な古楽奏者が集められ、専属楽団が結成された。彼らの使命は、忠実に再現された建物そのものの時代考証に配慮した、質の高い本物の音楽を提供し、レコーディング、コンサートを通じてグローブ座の名と精神を世界に広めることである。グローブ座の正式オープニングに合わせて発売された2枚のCDは、世界中に驚異をもって迎えられ、「シェイクスピア劇からの音楽」は、1997年、アメリカにおいてグラミー賞の一つにノミネートされた。

フィリップ・ピケット(音楽監督)

グローブ座の再建を目指し、志なかばで世界した俳優でプロデューサーのサム・ワナメイカーは、博学で古楽研究に優れた実績があり、RSCやナショナル・シアターとの豊富な舞台経験をもち、「大胆不適な考古学者」の異名をとるピケットに白羽の矢を立てた。以来ピケットは、シェイクスピアの舞台上で歌われて後埋もれてしまった音楽の発掘に力を入れる。また、学問、教育、楽しみの三要素の結合を目標としてコンサートとCDのプログラミングを行なう。1988年、サウスバンク・サマースコープ中世ルネサンス音楽祭の芸術監督に就任。1994年オールドバラ古楽祭を創設し、1997年まで監督を務めた。1996年ロイヤル・フェスティバル・ホールでの秋季古楽祭の芸術監督に就任。シェイクスピア・グローブ座の古楽監督、ミュージシャンズ・オヴ・ザ・グローブ(以下、MOG)とニュー・ロンドン・コンサート(以下、NLC)の音楽監督。

SHAKESPEARE'S MUSICK

- Strawberry leaves: *Anon.*
- It was a lover(As You Like It): *T.Morley(1557-1603)*
- Sellingers Round: *Anon.*
- Walsingham: *Anon. trad ballad tune*
- How should I your true love know(Hamlet): *Anon.*
- Full Fathom five(The Tempest): *R.Johnson(1583-1633)*
- Where the bee sucks(The Tempest): *R.Johnson*
- Can she excuse my wrongs: *Morley Consort Lessons*
- Farewell dear love(Twelfth Night): *R.Jones*
- My Lord of Marche Pavan: *J.Lauder(c.1600)*
- Galliard: *Anon.*
- Take o take those lips(Measure for Measure): *J.Wilson(1595-1674)*
- Hark hark the lark(Cymbeline): *R.Johnson?*

- 哀れなその子は泣きながら(オセロー)
- ワトキズおばさんのエール
- ああ、いとしい君
- ああ、いとしい君(十二夜)
- ラブネット
- ラ・ドゥース・セラ
- ラ・シ・ミズ
- ドゥルシーナ
- ユダヤ人のダンス
- ダフネ
- ラ・コラント
- ラ・ヴォルタ
- 今こそ花摘みの季節



巧みな技術と気迫で演奏。作品がエネルギッシュな傑作に変身。
——『インテベンテント』(イギリス)

我々の音楽生活に、歴史に裏打ちされた喜びが新たに加わる。
——『ミュージカル・オペニオン』(イギリス)



「シェイクスピア劇からの音楽」

- The poor soul sat sighing(Othello): *Anon.*
- Mother Watkin's Ale: *Anon.*
- O mistress myne: *Morley Consort Lessons*
- O mistress myne(Twelfth Night): *T.Morley*
- La bounette: *Anon.*
- La doune cella: *Anon.*
- La shy myze: *Anon.*
- Dulcina: *Anon.*
- The Jew's Daunce: *R.Nicholson(1570-1639)*
- Daphne: *Anon.*
- La Coranto: *Morley Consort Lessons*
- La Volta: *Morley Consort Lessons*
- Now is the month of Maying: *T.Morley*

ジョアン・ラン(ソプラノ)

1991年度BBC少女合唱隊員に選ばれた後、ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージック入学。多くの賞を受賞し、奨学金を得て大学院へ進学。1997年、全英モーツァルト・コンクール最終選考に残る。同年グレート・エルム声楽賞受賞。1998年、アントニー・ルイス記念賞受賞。MOG、NLCと定期的に共演し、国内外のコンサートや音楽祭に出演。BBCのライブ放送でも人気を博す。パッサ、モンテヴェルディ、ヘンデル、モーツァルトなどの宗教曲を得意とする。

ジョン・バランジャー(道化ほか)

コメディ・アクトバットとして初舞台を踏み、ニュー・ヴィック、ロイヤル・オペラ・ハウスなどの劇団の公演で俳優・パフォーマーとして頭角を現わす。BBCテレビの1990年度ジェスター(道化師)。現在、伝統的演技を柱とする古典エンタテインメントを専門的に上演する、フルズ・パラダイス・シアター・カンパニーの監督。パーピカン・センター、クイーン・エリザベス・ホール、フリンツェ5月音楽祭、アテネ音楽祭、ナショナルトラスト財団などで公演を行なっている。

しらかわホール主催公演のご案内(4月~7月)

4/26(金) 18:45	仲道祐子(ピアノ)&長谷川陽子(チェロ)	6/ 2(日) 14:00	ポール・クロスリー ピアノ・リサイタル
4/29(祝) 14:00	「スタン君の大ぼうけん!」 イリーナ・メジューエワ(ピアノ)	6/ 5(火) 18:45	レジデント・トリオ・ザルツブルク
5/24(金) 18:45	岩城宏之/アンサンブル金沢 ベートーヴェン交響曲全集 第3夜	6/23(日) 15:00	〈いずみ・紀尾井・しらかわ 3ホール共同プロジェクト〉 本名徹次/しらかわシンフォニア 2000-2002
5/25(土) 18:00	ツェトマイヤー・クアルテット	6/26(水) 18:45	ロータス・クアルテット
		7/11(木) 18:45	ストリング・クアルテットARCO